

すそみろく

筑波山の山麓一帯を「すそみ」と名づけました

第29号 (平成26年1月1日)

発行・すそみろく編集委員会

TEL029-866-1122 (筑波山麓グリーン・ツーリズム推進協議会・森田)

TEL029-863-5151 (NPO 法人つくば環境フォーラム・田中)



謹賀新年

謹賀新年
皆様の「ご繁栄を」祈念
申し上げます
筑波山神社宮司 田中泰一
029-8666-0502

神郡区長

佐谷定雄

霊峰筑波山より
世界平和を
御祈念致します
筑波山大御堂
029-8666-0126

六所地区

松崎 治

謹賀新年

萬民豊楽

慈眼山三光院 普門寺(神郡)
029-8677-0185

館区長

櫻井 登

自然・人・もの
に恵まれた田井の里
今年も地域と共に
豊かな子を育てます
田井小学校校長 磯山芳男

立野区長

鮎川 清

白井区長

田野倉和良

漆所区長

杉田宗良

田井地区の皆様のお
お仕合せを祈ります
井坂敦實(北条)

小沢区長

桜井忠男

謹賀新年

筑波山四季をとおして魅力的
どうぞお山にお越しく下さい
筑波山神社総代会 齋藤靖夫

杉ノ木区長

沼尻直次

大貫区長

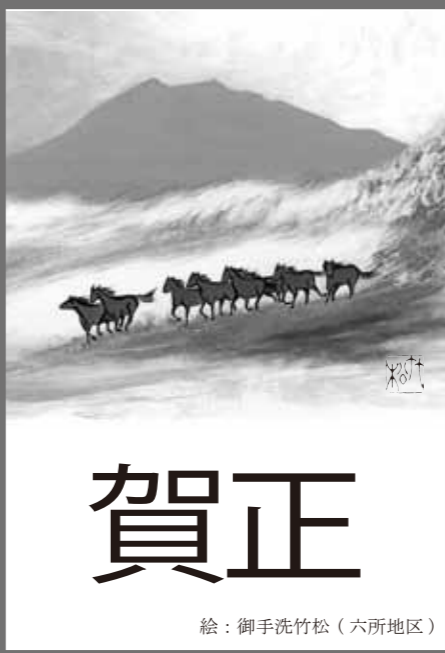
糸賀 昇



すそみは
常陸の国の宝です
飯田猷子(館)

謹賀新年

そば処 丸忠 飯田忠
029-8677-0581



賀正

絵：御手洗竹松(六所地区)

身体にやさしい
自然食品
つくば味工房
代表 松本てつ子
090-63316-8491

自ずから然るべく生きる
共生社会を目指します
自然生クラブ 一同
029-8666-2192

みんなで山麓を
盛り上げましょう
農業生産法人筑波農場
小久保貴史

おせちにあきたら
エスニック
多国籍創作料理の店 塩梅
029-8677-1480
(予約制)

新年おめでとう
ございます
専修大学教授 出口正義

武平元気米!!!
つくば玄米餅!!!
(有)武平ファーム
ギヤラリー きょう
029-8677-3475

つくばに本気!
明るく元気な
街づくり
(有)筑波物産
神谷大蔵

謹賀新年
つくばシルバー体操指導会
大久保勝弘

迎春
乗馬クラブ
(株)ツクバハーベストガーデン
029-8677-0783

謹賀新年
御手洗竹松
つくば市神郡2536-11
029-8666-11238

母の里山つくばからの発信
神郡塾
塾長 青谷洋治
理事長 程塚 洋

今年も「すそみろく」を
応援します。
(株)中野
029-8664-4546

謹賀新年
筑波山麓グリーン・
ツーリズム推進協議会
森田源美

「すそみろく」で
今年も楽しい話題を
お届けします!
里山建築研究所
つくば環境フォーラム
(有)結エディット
その他編集委員一同
デザイン・小沢陽子(漆所地区)

次の世代に伝えたいこと

地図によりみがえる子どもたちのパラダイス

「カンガリ(干狩)が一番の思い出」と話す櫻井勇さん(神郡、昭和六年生れ)。子供のころの記憶に残る自宅周辺を手描きの地図に表した。『櫻井勇の記憶 小学校5年頃の遊び場』と題されたその地図には、自宅を中心に、当時の少年から見た旧田井村の様子が描かれている。空白部分には、遊びの解説がぎつしりと書き込まれており、ここは自分たちの陣地だぞといわんばかりの勇少年達が目にかぶようだ。

かる旧筑波鉄道の鉄橋にぶら下がる遊びの話。この遊びは、一種の度胸試しで、列車が来るのを見計らってぶら下がる。機関士も承知していて、子供達めがけて石炭屑を落とす。地図には「これを浴びないよう鉄橋にぶら下がるスリル」と記されている。

先の「干狩」の解説は「川の流をせきとめ、中の水をかきだし、ざるで魚をとった。フナ、ナマズ、ドジョウ、ヤマメなどがとれた。大人に見つかって叱られた」とある。この記述のそばには、「田んぼに水を引くとき水盗張る番を水番という」とあり、勇さんによると、少年たちはさらにその

水番に見つからないように見張り役をたてて、遊んだそうだ。なるほど、こっぴどく叱られるわけである。勇さんに地図を描くよう勧めたのは奥様の京子さん(昭和十五年生れ)。実は、地図の中に出てくる話は、勇さんが京子さんに、常日頃おしゃべりしてきた内容。「今なら、びつ



櫻井勇さんの手描きの地図(部分)

詳細をホームページで発信中! <http://tsukuba-gt.sakura.ne.jp>

りするようないたずらをしていたのよね」。数年前思い立って、「忘れてしまわないうちに」と、面白おかしい勇さんのいたずら話を、そのまんま地図に描いてもらったのである。京子さんは、美大で染色を学び、神郡に嫁いでも、地域の伝承等を題材にした作品を作ってきた。そのかたわら、勇さんの祖母で明治生まれのうめさんが亡くなる直前まで書いていた日記から、戦中の苦勞が綴られた部分を抜粋し、「つくばの記」という手作りの冊子にまとめた。旧字体で書かれた文章を読み解くのは、なかなか大変だったが、「戦中の田井のようすや、困難な時代に、一人の女性が何を思ってた日々過ごし

「メイド・イン・山麓」のしめ縄ができた!

「かあさんが夜なべをして♪」で有名なかあさんの歌。2番に「おとろは土間でワラ打ち仕事♪」という歌詞がありますが、ワラは、昔の生活に必須でした。使道は草履、蓑み俵たもとと多岐にわたるのですが、縄を編む「縄ない」は共通の技術です。かあさんの歌が作詞された当時(昭和33年)ではだれもが行っていた縄ない。田井地区の区長さんたちも当たり前のように、ワラで縄をな

ていたのかを知る大切な手がかり。これをどうしても残さなければ」という思いでとり組んだ。

京子さんによって、掘り起こされたものは、形のあるもの、無いもの、区別なく大切に慈しまれ、新しい命を吹き込まれたかのよう。庭先の黒漆喰壁の土蔵の前には、壊れた大八車の車輪が一つ。京子さん自身が、赤い弁柄べんがらを塗り、再び命が与えられた。蚕影神社に伝わる金色姫の伝承になぞらえつくられた人形には、庭先で息絶えていた玉虫の羽があしらわれ、不思議な輝きを放っている。そして、掘り起こされた勇少年の記憶の地図は、まるで映画や小説のように見る人に様々な場面を思い浮か

います。それはまるで手品のようです。ある時、縄ないを教えてもらっている時、正月飾りのしめ縄も作るとのこと。しめ縄というとスーパーで買うものかと思っていたので更にびっくり。

「材料さえあれば誰でもできるよ、教えてあげるよ」と区長さん。聞けば家庭用だけでなく神社のしめ縄も作っているとのこと。しめ縄の作り方の技をぜひ教えていただきたいと、



出来上がったしめ縄をもって写真集合!



みことなしめ縄が出来上がりました

恵みで色鮮やかに飾り付けられました。

自分の手でしめ縄が作れること、使う素材がすべて山麓で集めたものということからか、イベントには予想を超える人数が集まりました。今回作ったしめ縄で素敵なお正月を迎

昨年4月に、有志で「わら部」を立ち上げ、区長さんたちとしめ縄専用の稲を育てて、夏の暑い時期に刈り取りました。そして、より多くの方に活動へご参加いただきたいということで「しめ縄をつくらう!」のイベントを企画することになりました。

12月8日、「正月事始め」として茅草かやぶき小屋で60名以上が参加し、しめ縄づくりに挑戦しました。講師はもちろん区長さんたち。しめ縄専用の青いワラが見事なしめ縄に!さらに福来ミカンや松の葉マンリョウ、ナンテンなどなど筑波山の

ばせてくれる。それほど遠くない昔に田井の里で繰り広げられた大人と子供たちの攻防。お宝山や逆川、秘密の小道、鉄橋の下で、と縦横無尽に駆け回る闘達少年達。「こころは、ほんとうに子供たちのパラダイスだったのね」と京子さん。記憶の地図によりがえた「パラダイス」。愛おしい風景の一片でも繋ぎとめ、次の世代に伝えられたらと願っている。

亡き父母の寄りそふてゐる暮筑波わが位置を正面とせり初筑波

今日子

居島真紀(里山建築研究所)



3人組でしめ縄づくり初体験です

白井の区長田野君さんの説明をきく参加者

しめ縄づくりのながれ

4月育苗

剪取し使わない葉を捨てました。薄暗さげの方が太い株に育つ!

黒米の苗、長い稲わらがしめ縄に付いていることので用いられています。

5月田植え

山からのきかいと、R水が流れる。まわりはゆるやかな斜面になっています。

8月稲刈り(全刈り)

刈り取ったらわらすぐり

3日間天日干し

夜露や雨にあてないよう取り込みながら行ないます

長さは大体1.5m

直射日光にあてずに保管

12月しめ縄づくり

まぼうじめを神棚に

神社や内神様に

まぼうじめから発展した輪飾り、玄関飾りなどに

えられることと思えます。

このしめ縄作りイベントでは地域の方々にも多大なご協力をいただきました。白井、六所、館地区の区長さんをはじめご協力いただきました皆様に御礼を申し上げます。

安藤慧(里山建築研究所)

●筑波山大御堂

世界平和と震災復興を祈念して皆様も鐘をついてください。

12月31日(火) 20時から除夜の鐘
1月1日(祝) 0時から晨朝護摩
1月18日(土) 初観音(緑日)。ご来寺いただき世界平和を祈念しましょう。

●筑波山神社

1月1日(祝) 5日(日) 初参りの皆様に甘酒のサービスがあります。その日の予定数がなくなり次第終了します。

●蚕影神社

1月1日(祝) 元旦祭ならびに一般初祈禱/10時半受付11時催行
3月28日(金) 蚕糸祭

●飯名神社例祭

2月3日(月) 皆様の多幸を願い福来餅を5回撒きます。(10・11・12・13・14時)

●筑波山麓・霞ヶ浦水源の森づくり

①1月11日(土) 雑木林間伐②2月1日(土) 竹林整備③3月8日(土) 植樹活動/場所・つくば市神郡「すそみの森」/10~15時/参加費700円(保険代・汁物・茶菓子)/親子プログラムあり

「申・問」NPO法人つくば環境フォラム 029-1866315 151

●神郡塾

1月12日(日) 後藤泉さんピアノコンサートと中村仁氏講演会
2月9日(日) 萩原武久氏講演会
3月9日(日) 赤萩栄一氏・青谷洋治氏講演会/すべて9時から「美六山荘」にて開催
「問」029-18661122 森田

インフォメーション

●わたしの名前は「エミュー」だよ!

つくば市小沢の住宅地でダチョウに似た珍しい鳥を発見。道路に面したブロック塀の向こうから長い首をつきだして、キョロキョロと愛きょうたつぷりに道行く人を眺めている、背の高い鳥がいます。一目見た人は驚いて足を止めたり、車を停車して写真を撮ったりと、この地域でちょっとした話題になっています。この鳥はダチョウの仲間で「エミュー」という名前の鳥です。

エミューを飼っているのは、本木茂さん(58)です。本木さんは一年半程前に、群馬県から小沢の地に移り住んで以来、ペットとして飼っています。この鳥はとても温厚で、人に慣れやすいそうです。草食動物なので、主食は草と米ぬかだけ、雑草を食べてくれるし、鳴き声もあまりしないので、ペットにはむいているとか。もしあなたがエミューに出会ったら、ひとこと声をかけてみてください。きっとフレンドリーなあいさつがかえってきますよ。

上野節子(小沢地区)



小沢のエミューです。どうぞよろしく!